



年金の仕組みを知って 激動の時代を乗り切ろう

税理士法人よしとみパートナーズ会計事務所・東京グラフィックス顧問税理士 荒牧 瑞枝

はじめに

老後の生活を支える生命線である年金にまつわる深刻な問題が多発しています。

直近ではAIJ投資顧問の年金資産消失事件。運送会社や建設会社、電気工事会社など、124の企業年金から1,984億円の資産を受託し運用していた同社は、顧客に対し、非常に高率で運用利回りを確保していると説明していましたが、2012年の証券取引等監視委員会の検査で、運用資産の大部分が消失していることが発覚しました。

この事件をきっかけに、改めて年金資産の運用問題がクローズアップされ、新聞紙上に「代行割れ」「厚生年金基金の解散」などの文字が踊りました。

2007年ごろから問題となったずさんな年金記録問題では、旧社会保険庁のオンライン化データのミスや不備が明らかになりました。この問題は政権交代の大きな要因の一つになりました。その対策として、「ねんきん特別便」「ねんきん定期便」が毎年、みなさんのお手元に届くようになりました。

このように、年金にまつわるニュースを目にする機会は多く、直接将来設計にかかわる年金制度ですが、この制度は改正に改正を重ねた結果、とても複雑怪奇な制度となってしまっています。

そこでこの連載では、制度の基本をわかりやすく解説し、現在積み立てている年金がどういうものなのか、いったいいくらもらえて、どんな保障があるのかを大筋で知っていただくと同時に、ニュースで何が問題になっているのかを理解するための、最低限の基礎知識を身につけていただきたいと思います。

ます。

また、みなさんが日ごろ疑問に思っている質問をぜひお寄せください。お寄せいただいた質問に答えながら、一緒に考えていく連載にしたいと思っています。

図表1 ねんきん定期便

ねんきん定期便

日本年金機構
Japan Pension Service
〒168-8505 東京都杉並区高井戸西3-5-24

この「ねんきん定期便」は、
平成 年 月 日時点の年金加入
記録に基づき作成されております。

照会番号

(照会番号は、お問い合わせの際に必要となります。)

「これまでの年金加入期間」、「これまでの加入実績に応じた年金額」です。
※このお知らせの見方は、パンフレットの2～3ページをご覧ください。

1 これまでの年金加入期間

国民年金			厚生年金保険	船員保険	年金加入 期間合計 (未納期間を除く)
第1号被保険者 (未納期間を除く)	第3号被保険者	国民年金 計 (未納期間を除く)			
月	月	月	月	月	月

2 これまでの加入実績に応じた年金額 (今後の加入実績により年金額は増加します。)

※老齢年金受給には、原則、300月以上の年金加入期間(未納期間および同月内での重複加入期間を除く)が必要です。
※老齢厚生年金額には、厚生年金基金から支給される額(代行部分のみ)も含まれています。
※年金額が表示されていない場合は、パンフレットの3ページをご覧ください。

(1) これまでの加入実績に応じた老齢基礎年金額	(年額)	円
(2) これまでの加入実績に応じた老齢厚生年金額	(年額)	円
これまでの加入実績に応じた老齢年金額 【 老齢基礎年金・老齢厚生年金 合計 】		(年額) 円

◆上記の年金額を、仮に20年間受給した場合の合計額は 円になります。
●「ねんきんネット」で、今後、保険料を納付し続けた場合等の年金見込額の試算を自由に行うことができます。ぜひ「ねんきんネット」をご利用登録いただき、ご活用ください。

(参考) これまでの保険料納付額

(1) 国民年金(第1号被保険者期間の保険料納付額)	(累計額)	円
(2) 厚生年金保険(厚生年金保険被保険者期間の保険料納付額)	(累計額)	円
これまでの保険料納付額 【 国民年金・厚生年金保険 合計 】		(累計額) 円

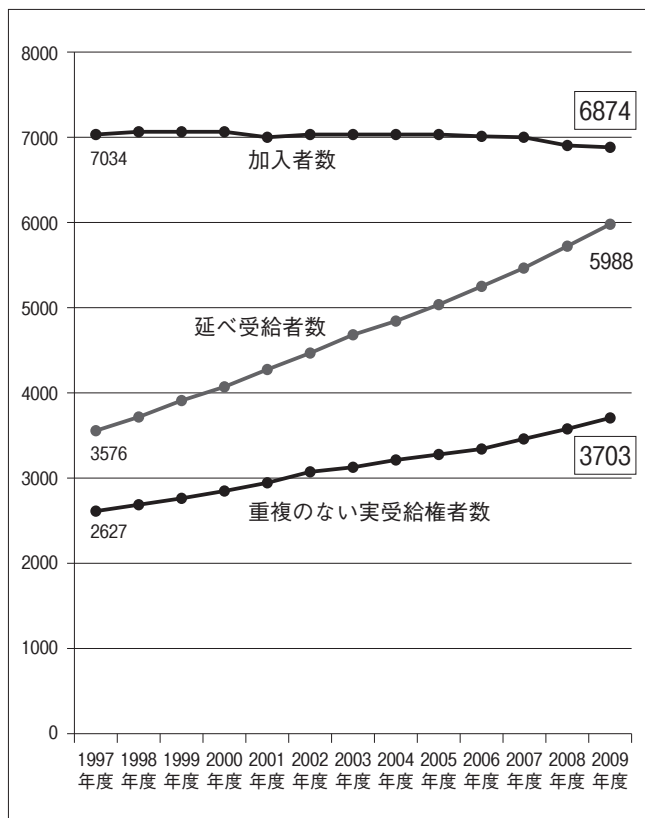
お示している年金加入期間や年金額には、共済組合員記録に関する加入履歴は反映されておりません。
 ※ 現在、日本年金機構と共済組合等との情報交換により記録の確認を行っているところです。
 ※ 各共済組合等における加入記録については、各共済組合等にお問い合わせください。

※このマークは、音声コードです。
目の不自由な方には、お一人おひとりの年金記録に関する情報を音声で聞くことができます。

2010*****Z

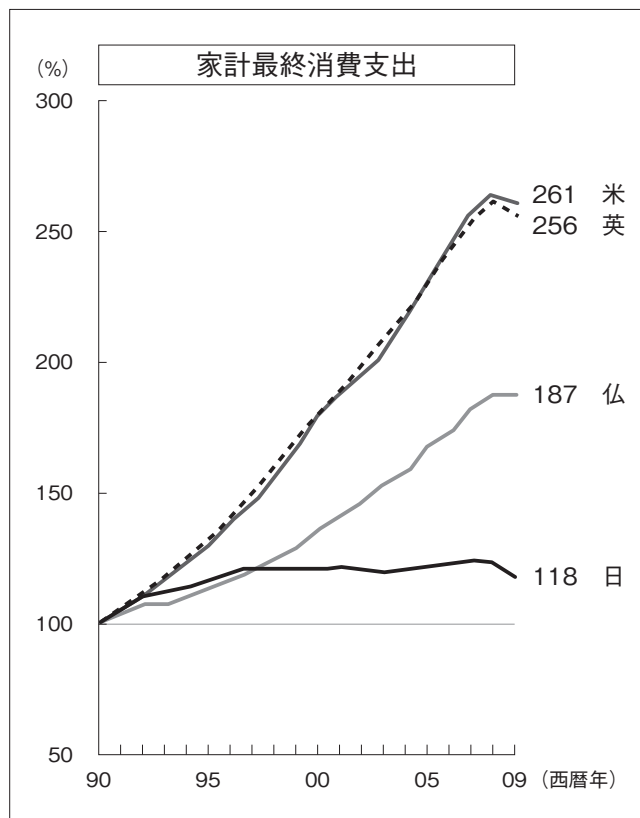
現在はインターネットで見えることもできます

図表2 公的年金加入者・受給者推移



(単位：万人 出所：厚生労働省)

図表3 家計支出の国際比較



(出所：国民経済計算〔内閣府〕ほか)
この20年で、欧米が所得を2～2.5倍に伸ばす中、
日本だけが横ばい～減少している

なぜ年金財政は悪化したのか？

年金財政が悪化している原因は、大きく二つあります。

一つは、「正社員数の減少」です。製造業を中心に、業績の調整弁として非正規労働者を使うようになり、正社員の数そのものが減っているのです。

もう一つは、「給与の減少」です。保険料は、月額給与の平均値を一定のテーブルにあてはめた「標準報酬月額」に「保険料率」を乗じて算出します。ですから、定期昇給がなくなるなどして、給与の伸びが止まってしまうと、会社の中の給与総額は減って利益体質になるかもしれませんが、年金の保険料収入の面では減少が続くことになります。

一方、高齢化で年金の受給者の数は増え続けますから、収入は減少、支出は増加し続ける、ということで財政が悪化しないわけはありません。

不景気で人員削減や給与カットを行うと、めぐりめぐって将来受け取る年金が減ってしまうのです。

かといって、給与は会社経費の大きな部分を占めますから、厳しい経営環境を生き残るためには、年功序列・終身雇用制度のような硬直的な給与体系を維持することは非常

に難しいでしょう。

少子高齢化で市場も収縮していくことが予想されるこれからは、年金制度もこのままでは維持できず、何らかの改革を行うことは避けられない流れです。

大きく世の中が変わろうとしている今、自分の生活を守り、これから選択する新しい制度の是非を判断できるだけの知識を身につけていきましょう。

今回は、「年金の基本構造～被保険者」についてお話をします。

荒牧 瑞枝 (あらまき・みづえ)

2009年 税理士登録

2011年 社会保険労務士登録

2013年 中小企業診断士登録

税理士法人よしとみパートナーズ会計事務所勤務

* * *

年金に関するご質問を東京グラフィックス事務局までお寄せください。この連載でお答えしていきます。